

東京開業ワンストップセンターは、会社設立に必要な各種手続きにワンストップで対応する相談窓口です。国と東京都が共同で運営し、赤坂のほか渋谷・丸の内にもサテライトセンターを設けています。今回は、同じ下着メーカーで仕事をし、ふとしたきっかけで起業を果たした渡邊絵美さんと永本英奈さんにお話を伺いました。

利用者 リレーインタビュー ……………



元日に新しいことにチャレンジしたいと思いつき、「ねえ、二人で会社作らない？」って誘いました

今年の元旦、これからの人生を見据えて何か新しいことにチャレンジしたい、ふとそう思ったんです。では何をするか、考えるうちに「会社を立ち上げようか」と(笑)。

願掛けのような思い付きではあるのですが、日頃からまったく考えていなかったわけではありませんでした。これまで2度の転職を経ながら、デザイン系、機能商品系、ライセンスブランドなど多種多様な幅広いインナーウェア商品の企画・デザインを長年にわたり手掛けてきました。そのキャリアのなかで、工場や資材屋さん、お客様とも関係が築けていました。これらを活かせば、独立してもやっていけるのではないかと、という想いはどこかにありました。仕事の内容自体は、そのとき会社でしていることと変わりません。デスクの隣には、仲のいい付き合いも長い永本さんがいました。彼女はパターンも引ける格好の相棒。「ねえ、二人で会社作らない？」って誘ったら、驚いた顔をしましたがすぐに「いいね!」と二つ返事。当然、言い出しっぺの私が会社設立の手続きを進めることになりました。

いくつもブースが並び、何やら面倒くさそう。それがワンストップセンターの第一印象でした

会社を設立するには何をどうしたらいいのか、手探りの状態からのスタートでした。ネットで調べ、まず区役所の創業・起業支援の担当部署に電話で相談、区の「産業支援センター」を紹介していただきました。ところが、運悪く1回相談に訪れたところで新型コロナウイルス流行の影響により相談窓口の機能が閉鎖、区役所の担当部署は予約しても2~3週間待ちと言われました。他に手立てはないかと区の職員に相談したところ、教えていただいたのが東京開業ワンストップセンターでした。



株式会社ETOE 代表取締役 渡邊絵美さん (写真左)
プロフィール / 服飾系の短期大学とデザイン研究所のダブルスクールを経て下着メーカーに就職、下着デザイナーとしてキャリアをスタートさせる。2度の転職を経ながら、下着やルームウェア、インナーなどのデザイナーとして経験を積む。同じ会社で働いていた永本英奈さん(写真右)と意気投合し、2020年4月、ジュニアからシニア、マトニティなどインナーウェアを中心に幅広い商品の企画を提案する株式会社ETOEを設立する。

何ともあれ一度行ってみよう、と最初にセンターを訪れたのは2月末、部屋に入ると、いくつもブースが並んでいるのでびっくりしました。しかも、会社設立に必要な手続きごとにブースが設けられていると聞いて、さらにびっくり。何やら面倒くさそう、と一瞬暗い気持ちになりました。

作成してきた定款を赤ペン先生のように添削していただき、とても助かりました

まず、中小企業診断士の方に新しい会社を登記するために不可欠な定款のことや必要なさまざまな手順について教えていただきました。登記についての知識がほとんどない私にもわかるように、丁寧に説明していただけたので本当に安心しました。

2回目の訪問のときは、作成してきた定款をまさに赤ペン先生のように添削していただき、とても助かりました。登記や税務、社会保険など他のブースの相談員の方々もみな親切で、説明もわかりやすく、次に何をすればいいのかよく理解できました。メールで細かい確認などのやりとりできたことも助かりましたね。第一印象とは一変、ブースが機能的に分かれているからこそ、スピーディに手続きを進めることができたと感じています。とにかく感謝です。



私からのワンポイントアドバイス

会社を設立するにはじつにさまざまな書類を用意しなければなりません。はっきり言って面倒です。でも、手続きを自分ですると会社への愛着も増します。東京開業ワンストップセンターの助けを借りれば、それほど難しいことはありません。経験者は語る、です。

相談体験会を随時開催しています。参加者募集中! **誰でも無料でご利用いただけます!**

【東京開業ワンストップセンター】

住所: 東京都港区赤坂1-12-32 アーク森ビル 日本貿易振興機構(ジェトロ)本部7階

電話: 03-3582-8352 FAX: 03-5561-4123

URL: <https://www.investtokyo.metro.tokyo.lg.jp/jp/support/onestop/>